

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	東洋医療技術論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 火曜1限	教室名	4校舎401教室
担 当 教 員	北田 覚	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
東洋医学の基本的な考え方について学びます。 結果として、自身の体質を通して東洋医学の考え方を知る。言語聴覚士としての引き出しを多くすることを目標とします。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント 参考図書:『東方栄養新書』、『マンガでわかる東洋医学』						
《授業外における学習方法》						
配布プリントを読み返す。 普段から自身の体調の変化を感じとる。 周囲の人の体調の変化を気にしてみる。						
《履修に当たっての留意点》						
みなさんが普段学ぶ現代医療とは異なる医学の考え方があることを知り、多様な視点から患者様をみる力になってくれることを期待します。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	東洋医学がどういったものかをおおまかに説明できる	配布プリント PPT	初回は特にありません。	
		各コマに おける 授業予定	授業オリエンテーション 東洋医学とは？ 自分の体質を知る			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	陰陽五行、気血津液の概要を説明できる	配布プリント	前回の授業を踏まえ、 自身の生活習慣を振り 返ってみてください。	
		各コマに おける 授業予定	陰陽五行論、気血津液論			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	蔵象論の概要を説明できる	配布プリント	前回までの授業を振り 返り、東洋医学の考え 方をつかんでみてくださ い。	
		各コマに おける 授業予定	蔵象論			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自身・他者の診察を通して東洋医学の考え方を述べられる	配布プリント	前回までの授業を振り 返り、東洋医学の考え 方をつかんでみてくださ い。	
		各コマに おける 授業予定	舌診、腹診			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	代表的な症状に対する東洋医学的なケアを実践できる	配布プリント	前回までの授業を振り 返り、東洋医学の考え 方をつかんでみてくださ い。	
		各コマに おける 授業予定	肩こりに対するケア			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	代表的な症状に対する東洋医学的なケアを実践できる	配布プリント	前回までの授業を振り返り、東洋医学の考え方をつかんでみてください。
		各コマにおける授業予定	腰痛に対するケア		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	特徴的な症状に対する東洋医学的なケアを実践できる	配布プリント	前回までの授業を振り返り、東洋医学の考え方をつかんでみてください。
		各コマにおける授業予定	冷え性に対するケア、ダイエット		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	特徴的な症状に対する東洋医学的なケアを実践できる	配布プリント	前回までの授業を振り返り、東洋医学の考え方をつかんでみてください。
		各コマにおける授業予定	耳鳴・難聴に対するケア		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			